

王地なり古く館の月多りて阿保家武
門の守護神なりとそ古社地なる伊勢
大神宮を勧修を古社所墨記より社元
直館村と云ふ館村の語之直館村ハ松山
領よりて余月領よりなり

一和靜神靈

多利酒井牛と助成白山古社地の月あり
て南上村の姓彩たふつといふもの是を守護
神と奉り下されし書付あり室永元年
亥二月社大破一修造の事なりとて記す

書付に見へり今ハ社所果社地の之僅よ
移る神鏡祝詞銘本彩たふつ家より祝詞
吉川惟是翁の手記なりやそ又たの如し
維元禄二年己巳九月三日吉日良辰平
以立出羽国庄内田川郡餘目之所生酒
井牛に助源忠高 和靜神靈乃前仁恐
義畏義毛申須伏以者 神者万物乃元
祖人者万物乃大靈多利所稟乃形質則
混一乃元氣仁志天神明乃器奈利所起
乃心性者真一乃虛靈仁之天神明乃舍